

人狼ゲーム

人数	4～20人（5人以上がおススメです）
対象年齢	10歳以上
プレイ時間	10～50分
用具	<p>人狼 DX カード 28 枚／役職一覧カード 4 枚／説明書／司会進行表【カード内容】人狼 4 枚、市民 9 枚、予言者 2 枚、ボディーガード 2 枚、霊媒師 2 枚、裏切り者 2 枚、ハンター 1 枚、共有者 1 枚、タフガイ 1 枚、独裁者 1 枚、妖狐 1 枚、ホワイトカード(予備) 1 枚</p> <p>※メモ用紙、書くものがあると便利です</p> 
遊び方	<p>ここはとある田舎町。この町には、人間に紛れて人狼が潜んでいます。人狼は、毎晩目を覚まして、人間を 1 人ずつ襲い、町を征服しようと狙っています。町を守るためには、人間になりすましている人狼を見つけ出し、追放しなければなりません。</p> <p>・基本ルール</p> <p>『人狼(じんろう)』とは、市民チームと人狼チームの 2 つに分かれたプレイヤー達が、それぞれのチームの勝利を目指して戦うゲームです。ゲームの最初に、役職がプレイヤーにランダムに割り振られますが、その役職は、自分だけしか見ることができません。そのため、議論を通じて相手を信用すること又は疑うことによって、自分たちのチームの勝利を目指していくことになります。</p>

・ゲームの準備

①まずは司会者を決めます。

司会者は、人狼チームでも市民チームでもなく、ゲームの進行を務めます。司会者は誰がどのカードを持っているか知ることができます。

②司会者はカードをプレイヤーに1枚ずつ配ります（人狼は必ず1枚は入れてください）プレイヤーは他の人に見られないように自分の役職を確認して、カードを伏せます。

③司会者はプレイヤー全員を見渡せる位置に移動して、ハンドサイン（例）「親指を上たてたら市民、下に向けたら人狼」や、「ピースサインは市民、狐のサインは人狼」などのゲームに関する決まり事を確認します。確認を終えたら、ゲームを開始します。

※ハンドサイン：司会者が予言者・霊媒者に情報を伝えるためのジェスチャーです

・ゲームの進め方

人狼ゲームは、夜のターンと昼のターンから構成されます。

■昼のターンは、誰が人狼かを探すための議論を行う時間です。市民チームは会話・反応・表情などから司会者が指定した時間の中で、誰が人狼かを議論して追放する人を投票で決めましょう。

※追放されたプレイヤーは脱落となりゲームに参加できなくなります。人狼カードを持っている人は自分の正体がばれないように、話術を駆使して応戦しましょう。



■夜のターンは、人狼と市民チームの能力者（能力者については後ほど説明します）が行動することができる時間です。基本的に、夜の時間では顔を伏せ、目をつぶり、声を発してはいけません。司会者の指示に従い、「人狼の人はそっと目を開けてください」と言われたら人狼カードを持っている人は顔をあげ、襲う市民を指差し等で司会者に伝えます。行動が終わったら顔を伏せましょう。



夜のターンの行動が全て終わった後、司会者から襲撃された人が発表され、そのプレイヤーは脱落します。

※脱落したプレイヤーは一切参加できなくなります。

・勝敗

襲撃を続けて人狼と同数まで人間を減らすことができれば、人狼チームの勝利です。自分の正体がばれないように、話術を駆使して応戦しましょう。その前にすべての人狼が追放することができれば、市民チームの勝利です。



市民チームの中には、非常に強力な能力を持った役職もいます。人狼でよく使われる4つのカードについて説明します。

・予言者（市民チーム）



予言者は、夜のターンで司会者の合図で目を覚まし、疑っている人物が人狼かそれとも人狼ではないかを司会者に聞くことができます。（司会者はハンドサインで人狼かそうでないかを教えます。）予言者は、人狼を見つける大きな手掛かりを持っている役職であるため、非常に重要な役職となります。予言者は、占った人物の役職までは知ることまではできず、あくまで人狼かそうでないかという点だけしか判別できないという点に注意が必要です。

・ボディーガード（市民チーム）



ボディーガードは、夜のターンで司会者の合図で目を覚まし、毎晩誰か一人を選んで護衛することで、そのプレイヤーを人狼の襲撃から守ることができる能力を持つ役職です。ただし、自分自身を守ることができず、かつ、連続して前日と同じプレイヤーを守ることはできません。そのため、人狼の心理を読み、上手く護衛することが大事なるため、推理力と考察力が要される役職です。

・霊媒師（市民チーム）



霊媒師は、夜のターンで司会者の合図で目を覚まし、その前日に処刑されたプレイヤーが人狼だったか人狼ではないかを司会者から教えてもらうことができる役職です。（司会者はハンドサインで教えます。）霊媒師は、残りの人狼の数を把握することができるため、情報を多く持つことができます。

・裏切り者（人狼チーム）



裏切り者は、人間であるにもかかわらず**人狼チームに属する役職**です。この役職は、通常の村人と同じく能力はなく、予言者に占われたとしても市民チームであるという結果が出ます。しかし、人狼の勝利が自らの勝利になるため、議論を混乱させる発言をして、**人狼が優位になるような行動を行うことが重要**となります。基本役職の中では、最も難しい役職であり深い思考が要されます。

・人数によるおすすめの数合わせ（基本セット）

下記を参考にしながら、プレイ人数やレベルにあわせて組み合わせを選択してください。ゲームになれていない場合は、人狼、市民、予言者、ボディーガードを中心として、複雑な役職は使用しないことをおすすめします。ゲームになれて来たら、下記以外の複雑な役職も取り入れてみましょう。

	人狼	市民	予言者	ボディーガード	霊媒師	裏切り者	司会者
4人	1	3					兼任
5人	1	2	1				1
6人	1	3	1				1
7人	2	2	1	1			1
8人	2	3	1	1			1
9人	2	3	1	1		1	1
10人	2	4	1	1		1	1
11人	2	4	1	1	1	1	1
12人	3	4	1	1	1	1	1
13人	3	5	1	1	1	1	1
14人	3	6	1	1	1	1	1